

月津こども園の園の評価結果に対する意見・コメント

昨年度に引き続き、外部の講師による研修や園内での公開保育の取り組みが継続して行われ、子どもの主体性を育む教育・保育の質の向上に大きな成果をもたらしていると思います。

小学校との接続、連携に関してもさまざまな取り組みがなされており、小学校の1年生担任のこども園見学や校長先生による体験授業などを実践するなど先進的な取り組みができています。

保護者アンケートでの要望・意見の中に、月津こども園の目指す「子どもの主体的な活動をたいせつにする」教育・保育について疑問を感じているものがありました。職員の中で子どもの主体性を大切にすることが定着してきたように、保護者に対してその意義への理解が進むためには、行事だけでなく保育参観や参加、クラス懇談の機会を通して、またクラスだよりや連絡帳を通して、生き生きとした子どもたちの様子を繰り返し伝えていくことが大切なのだと思います。これからの取り組みに期待しています。

令和 8年 3月18日

役職等 監 事

氏 名 森 和 美



月津こども園の評価結果に対する意見・コメント

今年度もいろいろな要望、意見がある中で園の考えをきちんと丁寧に答えていることを感じました。昨年度もお伝えしましたが、要望、意見を受け入れるばかりでなく具体的に伝えることは大切ですね。特に園の考え方をしっかりと伝えることは重要だと思います。

発表会を見せていただきましたが、子どもたちの主体性が重視されていたと思います。発表会が特別なものではなく日頃の教育・保育からだという事を再認識しました。意見の中には厳しい意見もありましたね。発表会に向かうまでの子どもたちの様子をドキュメンテーション等でお知らせもされていたと思うのですが、まだ伝わっていないのだと思うので、今以上に丁寧に具体的にわかりやすく知らせていったらいいのではないかと思います。

今後も公開保育を実施し、お互いの保育について意見を交わす等学び合い、職員全体で質の向上をめざして下さい。

令和 8 年 3 月 17 日

役職等 監 事

氏名 嘉藤 恵子



月津 こども園の評価結果に対する意見・コメント

○全体的に教育・保育の質の向上に努めているこ^とがうかがえる。

- ・発達段階を踏まえ、日々の活動や行事についてその都度職員間で話し合い振り返りを行っている。
- ・外部講師を交えカンファレンスを継続したり、ドキュメンテーションによる子どもの育ちを保護者と共有している。
- ・健康、安全、衛生、守秘義務など研修や実践を行っている。
- ・食育に関して工夫されていることがよくわかる。
- ・園解放では“子育て支援員”の参加があり、園への信頼や期待につながる事がわかる。

○事業計画の周知の工夫が必要。 (職員)

○“生活発表会”からうかがえるが、主体性について日々保育をしている保育教諭達に悩みや疑問はないか。 もう一步進もう。

○主体性を育むにあたり、養護は大切であるが、教育の要素を踏まえなが進めるとより高まるように思う。
(保護者からのアンケートの図表と意見の違いから思われる)

令和8年 3月3日

役職等 監事

氏名 中田 眞知子



月津こども園の評価結果に対する意見・コメント

昨年に引き続き、貴園の評価結果<自己評価並びに保護者の園運営と教育・保育への取り組みアンケート調査>に対する意見・コメントを述べる機会を戴きましたこと、有り難く思います。

自己評価につきましては、A評価が圧倒的に多数を占め、とりわけ、「理念」「計画」「保護者支援」「組織的基盤」については、教育・保育実践者各位がほぼ満点に近い評価をしていると言えましょう。唯一「子どもの発達保障」についてB評価はあるものの、1年間の保育を通して“もっともっと保育のおもしろさや愉しさを追究したいという”保育者各位の願いの表れと考えます。明らかに、保護者アンケートの集計からもこれらが読み取れることから、優れた結果が出たものと考えます。

文章で付記されている取り組み状況及び課題欄からは、子ども一人一人の人格の尊重、主体性の追求とそのための学びや園内研修の数々、加えてドキュメンテーション等記録の充実、そして何よりも、それらにむけて職員の意識が揃ってきていることなどが備に読み取れました。<去年は、同僚性の高さを高く評価させて戴きました>。昨年よりも一層の「自己評価」の向上や深まりを感じます。

保護者アンケートで得られた結果からは、保護者の方々の感謝の言葉を多く目にすることができました。また掲出された要望・意見に対するコメントからも職員集団としての努力の跡が見えています。保育者としては、保護者の数だけ応援団がいることを縁（よすが）に、園の保育展開を見守って戴きましょう。この後、地域・保護者を巻き込んだ規模の大きい実践研究が展開されていくと聴いています。本年度得られたアンケート結果を、調査項目等、自由記述も含めて細部に亘り検証して戴き、研究成果を上げて下さることを期待致します。

加えて、この研究に際し、地域の全ての子どもの主体性を伸ばし地域での育ちを保障していくために、地域に住む全ての大人が「心」に育てなければならないことを、増山均先生の言葉を借りて三点述べて締めくくりたいと思います。

- (1) ゆっくりしていいんだよ。たのしい、おもしろい、ここちいいことがたいせつなんだよ。
- (2) しっぱいしてもいいんだよ。つまずいたっていいんだよ
- (3) じぶんたちのせいかつはじぶんたちでとりしきり、なかまとともにしゃかいにさんかしていくんだよ

以上

令和 8 年 3 月 8 日

役職等 金城大学短期大学部 客員教授

氏名 和泉 美智枝 

月津こども園の評価結果に対する意見・コメント

保護者総会、園だより、玄関掲示などの様々な方法で、園の理念や基本方針、そして日々の子どもたちの活動の様子を公開されていることが、保護者の安心感、そして園への信頼感につながっていると思います。そのことが、アンケート結果やコメントから伝わります。

今年度は、より地域とのつながりを深めるために、地域の方に入っていただく活動も増やされています。地域とのつながりは、園の理念や方針を広めていくことにも有効です。また、様々な方との触れ合いは、子どもたちのコミュニケーション力を高めることにもつながっていると感じます。園の行事を参観させていただくと、自分から話せる子、明るく穏やかな表情の子、そして頑張る気持ちがいっぱいの子が多く、うれしくなります。そして会話にも積極的です。この力は、小学校入学後も、集団を作っていく中でさらに高まっていきます。

こども園が大切にしている「子どもの主体的な活動を大切にする」という目標に向けた実践（取組）は、一人ひとりの丁寧な見取りや的確な状況把握、細かな計画が必要ですが、つけたい力を明確にし、職員集団が一つにまとまり、一人ひとりと丁寧に向き合っていることは、これまでのこども園との連携で伝わってきました。小学校でも、「自分で考えて行動する力」は大切に育てていきます。

これからも、こども園と、そして地域とのつながりを大切にして、月津の子どもたちの成長を見守りたいと思います。これからもよろしくお願いいたします。

令和8年2月20日

小松市立月津小学校

校長 木下 真由美



月津こども園の評価結果に対する意見・コメント

アンケート結果から園の活動が肯定的に評価されていることがわかりました。

保護者の意見に、園の指導方法について疑問や改善希望が見られますが、それに対して園の指導方針を述べ理解を求めるだけでなく、保護者の要望をしっかりと受け止める姿勢が感じられると良いと思います。

令和8年2月23日

役職等

氏名 山路 基洋



月津こども園の評価結果に対する意見・コメント

耳より組みアンケート結果も拝見しました

相談窓口などの認知度は、保護者様が必要と感じていらっしゃる方は

知りたらし聞いて来られると思うので、「来てはもらない」の方は保育=それほど

不満などが無いのでは?と良い方に考えてまいりました。その他アンケートの意見

等、拝見いたしました。保育者側の大変さ、保護者側の要望、少なからず

私自身も関わらせていただいている中で日々の活動(天候にもよりますが)

精一杯と感じる事もありますが、月又は週の活動の中で保護者側の制作

希望や、大きなイベントの計画と段取りが大切と感じました。

今年度は、地域の方との交流も増える事、思っています。充実したものとなります

様、また何なりと申して下さい。

令和 8 年 3 月 27 日

役職等 リミミック講師

氏名 吉田 嘉子

